


# 平成30年度 第1回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

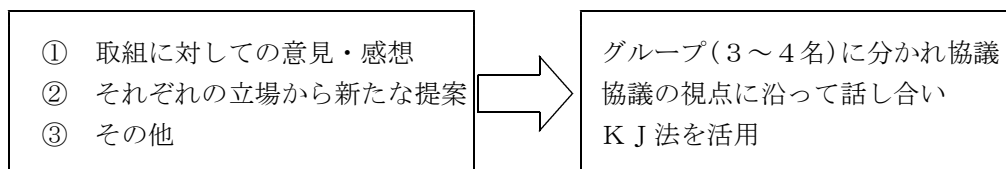
(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成30年6月13日(水) 時間: 13時30分~15時30分
2 会場	南会津合同庁舎 2階会議室
3 出席者数	総出席者数 計 18名 (男性8名 女性10名)
<p>(内訳) 学識経験者、家庭教育支援南会津の会、地域子育てサポートチーム、郡小学校長会          南会津町放課後子ども教室、びわのかげ保育所、下郷町学校図書館ボランティア          下郷町学校支援員、南会津保健福祉事務所、南会津町教育委員会社会教育担当者          下郷町教育委員会社会教育担当者、檜枝岐村教育委員会社会教育担当者、          只見町教育委員会社会教育担当者、南会津教育事務所(所長、次長兼社会教育課長、主任社会教育主事、主任指導主事、指導主事兼社会教育主事、スクールソーシャルワーカー)</p>	
4 会議概要	<input type="radio"/> 事業報告と情報提供 <input type="radio"/> グループ協議
5 会議内容	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>(1) 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 開会のことば</li> <li><input type="radio"/> 主催者あいさつ【 所長 佐藤 則之 】</li> <li><input type="radio"/> 出席者自己紹介</li> <li><input type="radio"/> 日程説明・諸連絡</li> </ul> <p>(2) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 事業報告と情報提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県地域家庭教育推進会議から【 主任社教主事 我妻 雄比古 】</li> <li>・ 社会教育事業(家庭教育)について【 主任社教主事 我妻 雄比古 】</li> <li>・ 家庭学習スタンダードについて【 主任指導主事 芳賀 稔 】</li> </ul> </li> <li><input type="radio"/> グループ協議               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議の進め方について</li> <li>・ 協議</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  </div> </div>
<p>【 テーマ : 「家庭教育に若い世代をどう巻き込んでいくか」について 】</p> <p>&lt;進め方&gt;          昨年度の第2回ブロック会議で、上記テーマについて協議を行った。その時に、各グループより出された課題・解決策を踏まえながら、今年度南会津教育事務所で取り組む、家庭教育事業について提案した。</p> <p>【南会津教育事務所からの提案】</p> <p>① フォローアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/30(土)の開催</li> <li>・ 託児所の設置</li> <li>・ 講演+映画上映+ミニコンサート</li> <li>・ 各町村の広報誌等にチラシを掲載</li> </ul> <p>② 応援企業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檜枝岐村と只見町の商工会総会等で家庭教育応援企業についてPRを実施</li> <li>・ 南会津町と下郷町は商工会よりチラシを配布していただいた</li> <li>・ 若い世代が勤務している職場の企業研修会を予定(家庭教育コーチング)</li> </ul> <p>③ 親子の学び応援講座</p>	

- ・ P T Aのニーズに、より応えられるよう講座の内容（メディアコントロール・読書・食育）にその他（思春期の子どもとの関わり方等）を追加した結果、13団体より講座の希望が寄せられた

④ P T Aの研修活動の支援

- ・ 8/5（日）下郷町ふれあいセンター
- ・ 郡内の各校P T Aが一堂に会する「郡P T A連合会研究大会」で「家庭学習スタンダード」を基に、県義務教育課指導主事に講演していただく



<協議の結果>

① 取組に対しての意見・感想

- ・ 平日休みを取れない人にとって土・日開催はありがたい。
- ・ 子育て中は忙しいので、休日はゆっくり休みたいと思う。
- ・ 託児所の設定はありがたいが、長時間の参加は子どもが飽きてしまうので難しい。
- ・ 親子の学び応援講座は、選択のジャンルが広がってとても良い。
- ・ 昨年度の反省を踏まえて、参加しやすい環境づくり等がなされている。
- ・ 広報用チラシの工夫（期日・対象者をわかりやすくする等）があると良い。



② それぞれの立場から新たな提案

- ・ 講話の合間に体験型の催し等（リラクゼーション・茶話会）を入れてはどうか。
- ・ 保育参観を活用して短時間でも講演が定期的に行きければいいかと思えます。
- ・ 家庭学習スタンダードを自分達の講話時に取り入れ理解を得るようにしたい。



③ その他

- ・ 家の子のクラスは、「家庭学習スタンダード」を有効に活用している。
- ・ 研修＝講話のイメージ（受け身）なので、参加型形式（ワークショップ等）で短時間で行う。
- ・ 家庭教育の大切さは、誰もがわかっていることだが、何を、どこから得ればいいのかわからないのではないか。

○ 各グループからの発表

- ・ A～Dグループの代表による発表

○ まとめ

(3) 閉会式

○ 諸連絡

○ 閉会のことば

- ・ 御礼【次長兼社会教育課長 高橋 正敏】



## 6 成果・課題

### (1) 成果

- 福島県地域家庭教育推進協議会についての報告により、本県の家庭教育推進についての取組の現状と課題について情報を共有することができた。
- 域内町村教育委員会の方をはじめ家庭教育ブロック会議の参加者に、本所学校教育課の主任指導主事より「家庭学習スタンダード」について具体的に説明いただき、理解を深めていただくことができた。
- 今年度開催予定の講座や研修会の実施日をお知らせし、参加を促すことができた。
- 1グループ3、4人でのKJ法を用いたことで、個人の発言回数が多くなり、参加者一人一人が活発に自分の考えを述べることができた。
- 昨年の反省を踏まえた本所の取組を具体的に提示したことで、参加者から様々な視点より感想・意見・新たな提案等が多数出されたので、それらを参考に実践していきたい。

### (2) 課題

- 当日仕事の都合等により6名の欠席者が出た。事前に実施日等を伝えていたが、今後、参加いただく団体の選考や、参加しやすい日時を工夫していきたい。
- 今回のブロック会議で出された課題等を踏まえた上で、今後の事業を推進していきたい。